

農業生産基盤情報通信環境整備事業

令和8年度予算概算決定額 655百万円（前年度 - ）
〔令和7年度補正予算額 220百万円〕

<対策のポイント>

農業者が減少する中、生産性の向上、生産コストの低減に向け、**農業水利施設等の管理の省力化・高度化**や**スマート農業の実装**を推進するとともに、**地域活性化を促進**するため、農村地域における**情報通信環境の整備**を支援します。

<事業目標>

情報通信環境の整備に取り組む地区（約100地区〔令和11年度まで〕）

<事業の内容>

1. 計画策定事業

① 計画策定支援事業

情報通信環境に係る調査、計画策定に係る取組を支援します。また、**情報通信分野の知見を持つ人材を育成する取組**を支援します。

② 計画策定促進事業

事業を進める中で生じる諸課題の解決に向けたサポート、**ノウハウの横展開**等を行う**民間団体の活動**を支援します。

2. 施設整備事業

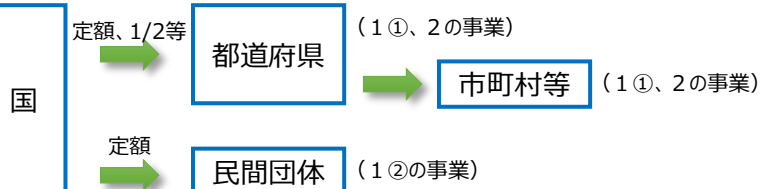
① **農業水利施設等の管理の省力化・高度化**や**スマート農業の実装**に必要な**光ファイバ**、**無線基地局**等の**情報通信施設**及び**附帯設備の整備**を支援します。

② ①の情報通信施設を**地域活性化に有効活用**するための**附帯設備の整備**を支援します。

【実施要件】

- ・事業実施計画を策定していること（1、2の事業）
- ・総事業費200万円以上 等（2の事業）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

情報通信施設

光ファイバ 無線基地局 RTK-GNSS基準局

鳥獣農センサー 水位センサー 監視カメラ

農業用ダム ため池 公共無線LAN 農機の自動操舵 選果場 ドローン ハウス環境計測 農作業体験施設 頭首工 農業集落排水 自動給水栓 排水機場 居住エリア 既設光ファイバ 事務所から施設を監視、制御 自宅から農地を監視

— 事業活用事例（A地区） —

- 計画策定支援事業を活用し、地域一体となって事業を推進する**取組体制**を構築。
- 国営事業によるほ場整備と併せて、**無線基地局**を整備し、農機の自動操舵のための**RTK-GNSS基準局**、**自動給水栓**等を導入予定。

（情報通信施設の活用例）

- 光ファイバ
- 無線基地局。地域の取組内容に応じて適切な通信規格（LPWA、BWA、Wi-Fi、ローカル5G等）を選定。
- 農業水利施設等の管理の省力化・高度化に関する利用
- スマート農業の実装に関する利用
- 地域活性化に関する利用

【お問い合わせ先】 農村振興局地域整備課 （03-6744-2209）